

9月17日（金）午前

アスタリスク付き発表ID：招待講演者

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	21F-11 沿岸域の海洋循環と物質循環 古市尚基（水研機構）・高橋大介（東海大）・山口一岩（香川大）・ 遠水祐一（佐賀大）		21F-12 海洋物理一般 プログラム編成委員会
9:00	21F-11-1 ★座長 古市尚基（水研機構） 領域海洋モデルと粒子追跡モデルを用いた黒潮・親潮混合 水域における水塊分析に関する研究 ○池田雅（茨城大学大学院）・増永英治（茨城大学）・鈴江洋太 （建設技術研究所）・伊藤幸彦（東京大学）・内山雄介（神戸大 学）	9:00	21F-12-1 ★座長 森岡 優志（JAMSTEC） 氷期サイクル中のDO(ダンスガードオシュガー) イベント 出現メカニズムと気候—海洋系の安定性の分岐構造 ○阿部彩子(東京大学)・陳永利(東京大学)・シェリフ多田野 サム(東京大学)・小長谷貴志(東京大学)・國吉優太(東京大 学)・岡頭(東京大学)・吉森正和(東京大学)・齋藤冬樹(海洋 研究開発機構)・山本彬友(海洋研究開発機構)
9:15	21F-11-2 ドローンとラジコンボートを用いた河川フロントの観測 ○高見健大朗(九大・総理工)・木田新一郎(九大・応力研)・ 磯辺篤彦(九大・応力研)・田中深(東大・大気海洋研)	9:15	21F-12-2 気候モデルによる退氷期の急激な気候変化の再現 ○小長谷貴志(東京大学)・阿部彩子(東京大学)
9:30	21F-11-3 Toward optimal interpolation in Otsuchi bay ○Kim Yoo-Jun(東京大学大気海洋研)・Tanaka Kiyoshi(東京大 学大気海洋研)・Komatsu Kosei(東京大学新領域)・	9:30	21F-12-3 氷期気候とAMOCの千年スケール変動メカニズムとAMOC 安定性に及ぼす気候歳差の影響に関する気候モデル研究 ○國吉優太(東京大学大学院)・阿部彩子(東京大学)・Wing-Le Chan(東京大学)・シェリフ多田野サム(リーズ大学)・齋藤 冬樹(海洋研究開発機構)
9:45	21F-11-4 サロマ湖内における窒素・リンの現存量と組成比の変化 ○山越康介(北海道大学大学院環境科学院)・芳村毅(北海道 大学大学院水産科学院)・森亜弓美(北海道大学大学院環境 科学院)	9:45	21F-12-4 氷期・退氷期における千年スケールAMOC変動と気温や海 水温の大気海洋結合モデル解析 ○志村蓮(東京大学大気海洋研究所)・阿部彩子(東京大学大 気海洋研究所)・小長谷貴志(東京大学大気海洋研究所)・陳 永利(東京大学大気海洋研究所)・國吉優太(東京大学大気海 洋研究所)
10:00	21F-11-5 枯死後水生植物からの溶解有機炭素浸出量とその分解特性 ○田中秀幸(静岡大学大学院)・久保篤史(静岡大学) ★座長 高橋 大介（東海大）	10:00	21F-12-5 南大洋の温暖化が引き起こす氷期大西洋深層循環のモード 遷移 ○岡頭(東京大学)・阿部彩子(東京大学)・シェリフ多田野サ ム(東京大学)・横山祐典(東京大学)・川村賢二(国立極地研 究所)・羽角博康(東京大学)
10:15	21F-11-6 陸奥湾底層における海底耕耘による栄養塩回帰プロセスの 解明と貧栄養化に対する有効性 ○阿部優之介(北海道大学大学院環境科学院)・工藤勲(北海 道大学大学院水産科学研究院)	10:15	21F-12-6 南大洋の塩分層の強化と鉄肥化が氷期の海洋化学ト レーサー分布に及ぼす影響 ○小林英貴(東京大学大気海洋研究所)・岡頭(東京大学大気 海洋研究所)・山本彬友(海洋研究開発機構)・阿部彩子(東京 大学大気海洋研究所)
10:30	21F-11-7 房総半島九十九里沖海域における海底からの天然ガス湧出 現象 ○鈴木昌弘(産総研)・長尾正之(産総研)・山岡香子(産総研)・ 清家弘治(産総研)・高橋暁(産総研)・塚崎あゆみ(産総研)・ 鈴木淳(産総研)・田村亨(産総研)・宇都宮正志(産総研)・北 牧祐子(産総研)・青木伸行(産総研)・太田雄貴(産総研)・吉 田剛(千葉環境研セ)・荻津達(千葉環境研セ)・石井光廣(千 葉水総研セ)・小宮朋之(千葉水総研セ)・高草木将人(千葉 水総研セ)・鈴木孝太(千葉水総研セ)・石田洋(公財海生 研)・小倉利雄(九十九里漁協)	10:30	21F-12-7 氷期における海洋循環の定量的理解に向けた ²³¹ Pa/ ²³⁰ Th比 の数値シミュレーション ○植木優(東京大学大気海洋研究所)・小林英貴(東京大学大 気海洋研究所)・岡頭(東京大学大気海洋研究所)
10:45	21F-11-8 堆傍傍の粒子物質輸送過程に関する数値的研究 ○古市尚基(水産研究・教育機構)	10:45	21F-12-8 最終氷期最大期における潮汐混合の強化に対する大西洋子 午循環の応答(2) ○曾根田哲也(東京大学大気海洋研究所)・岡頭(東京大学大 気海洋研究所)
11:00	21F-11-9 富山深海長谷内部の流れと海水特性 ○千手智晴(九大応力研)	11:00	21F-12-9 古第三紀始新世における海洋熱塩循環場の変化について ○田旗栄太(京都大学大学院)・吉川裕(京都大学大学院)
11:15	21F-11-10 日本海産ホタルイカが反映する環境変化の解析 ○吉田光佑(富山大学理工学教育部)・張勁(富山大学学術研 究部理学系)・稲村修(魚津水族館) ★座長 遠水 祐一（佐賀大）	11:15	21F-12-10 南極大陸縁における渦拡散の定量化 ○山崎開平(北海道大学環境科学院)・溝端浩平(東京海洋大 学)・青木茂(北海道大学低温科学研究所)
11:30	21F-11-11 栄養塩負荷削減による陸からの栄養塩供給量の減少と沿岸 域での栄養塩制限状態の強化～富山湾での事例～ ○片境紗希(富山大学大学院理工学教育部)・野嶋航太(富山 大学理学部)・松本碧人(富山大学理学部)・張勁(富山大学学 術研究部理学系)	11:30	21F-12-11 Argo塩分プロファイルに見られる高塩分ドリフトの影響 ○佐藤佳奈子(JAMSTEC)・細田滋毅(JAMSTEC)
11:45	21F-11-12 富山湾深層動物プランクトンからみる環境の長期変動 ○勝田裕大(富山大学大学院理工学教育部)・張勁(富山大学 学術研究部理学系)・稲村修(魚津水族館)	11:45	21F-12-12 教師なしクラスタリングから明らかにする黒潮主流変動が 海洋船直構造に与える影響 ○三部文香(東北大院理)・須賀利雄(東北大院理)・JAMSTEC)

開始時刻	第1会場	開始時刻	第2会場
	<p>21F-11 沿岸域の海洋循環と物質循環 古市尚基(水研機構)・高橋大介(東海大)・山口一岩(香川大)・速水祐一(佐賀大)</p>		<p>21F-12 海洋物理一般 プログラム編成委員会</p>
14:00	<p>21F-11-13 豊後水道における豪雨に伴う沿岸と外洋の海水交換 ○森本昭彦(愛媛大学)・董孟洪(愛媛大学)・亀田まひろ(愛媛大学)・柴川大雅(京都大学)・平井真紀子(愛媛県水産研究センター)・三門哲也(愛媛県水産研究センター)・竹尻浩平(大分県水産試験場)・郭新宇(愛媛大学)・武岡英隆(愛媛大学)</p>	14:00	<p>21F-12-13 海洋短波レーダーを用いた津軽暖流の海峡東部における挙動と海峡外でのジャイアーモード形成に関する研究 ○金子仁(JAMSTECむつ研究所)・佐々木建一(JAMSTECむつ研究所)・阿部泰人(北大院水産)・田中雄大(水研機構資源研)・脇田昌英(JAMSTECむつ研究所)・渡邊修一(JAMSTECむつ研究所)・奥西武(水研機構資源研)・佐藤喜晴(JAMSTECむつ研究所)・豊指祥子(JAMSTECむつ研究所)</p>
14:15	<p>21F-11-14 大阪湾における数十年スケールの潮汐変化 ○嘉村拓海(九州大学院)・松浦浩巳(九州大学院)・上原克人(九州大応用力学研究所)</p> <p>★座長 山口一岩(香川大)</p>	14:15	<p>21F-12-14 リアルタイム観測情報で見られた特異潮位偏差現象について ○小田巻実(元海上保安庁)</p>
14:30	<p>21F-11-15 Seasonal variations in currents in the Harima-Nada and occurrence of the Bottom Cold Water ○Siraporn Tong-u-dom(愛媛大学)・Akihiko Morimoto(愛媛大学)・Xinyu Guo(愛媛大学)・Qian Leng(愛媛大学)</p>		<p>21F-04 数ヶ月から数十年スケールの気候・海洋生態系の変動とその予測 土井威志(JAMSTEC)・豊田隆寛(気象研)・中野渡拓也(水研機構)</p>
14:45	<p>21F-11-16 湾内の異なる生息地点におけるアマモの生存戦略について ○坪井昌宏(香川大学大学院)・岸本浩二(香川大学瀬戸内圏研究センター)・山口一岩(香川大学)・多田邦尚(香川大学)・一見和彦(香川大学瀬戸内圏研究センター)</p>	14:45	<p>21F-04-1* エルニーニョに対する強い台風の応答と内部変動 ○山田洋平(海洋研究開発機構)・小玉知央(海洋研究開発機構)・中野満寿男(海洋研究開発機構)・那須野智江(海洋研究開発機構)・佐藤正樹(東大気海洋研究所)・杉正人(気象庁気象研究所)</p>
15:00	<p>21F-11-17 播磨灘における植物プランクトン群集のサイズ組成と物理化学環境 ○岩本達(香川大学大学院)・山口一岩(香川大学)・多田邦尚(香川大学)・一見和彦(香川大学瀬戸研究センター)</p>	15:00	<p>21F-04-2 クロロフィルの経年変動は、エルニーニョ予測に影響を与えるか？ ○土井威志(JAMSTEC)・Swadhin Behera(JAMSTEC)</p>
15:15	<p>21F-11-18 有明海湾奥東部における浮泥・濁度変動機構の観測 ○速水祐一(佐賀大学)・岡村和彦(水産研究・教育機構)・杉松宏一(水産研究・教育機構)・山口聖(水産研究・教育機構)</p>	15:15	<p>21F-04-3 駿河湾への黒潮水貫入とそれに伴う湾内の表層循環 ○豊田隆寛(気象庁気象研究所)・坂本圭(気象庁気象研究所)・碓氷典久(気象庁気象研究所)・広瀬成章(気象庁気象研究所)・田中潔(東大AORI)・勝間田高明(東海大)・高橋大介(東海大)・仁木将人(東海大)・曾田邦夫(東海大)・美山透(JAMSTEC)・中野英之(気象庁気象研究所)・浦川昇吾(気象庁気象研究所)・小松謙介(気象庁気象研究所)・川上雄真(気象庁気象研究所)・山中吾郎(気象庁気象研究所)</p>
15:30	<p>総合討論</p>		<p>★座長 豊田隆寛(気象研)</p>
	<p>21F-14 海洋科学総合 プログラム編成委員会</p>		<p>21F-04-4 バレンツ-カラ海の海水減少トレンドを駆動するガルフストリーム域の昇温 ○山上温航(東京大学大気海洋研究所)・渡部雅浩(東京大学大気海洋研究所)・森正人(九州大学応用力学研究所)・小野純(JAMSTEC)</p>
	<p>★座長 伊藤進一(東大海研)</p>	15:45	<p>21F-04-5 Decadal sea ice predictability in Antarctic seas using ocean and sea ice initializations ○森岡優志(海洋研究開発機構)・Doroteaciro Iovino(CMCC)・Andrea Cipollone(CMCC)・Simona Masina(CMCC)・Swadhin K. Behera(海洋研究開発機構)</p>
16:00	<p>21F-14-1 九州西岸海域におけるマイクロプラスチックの鉛直分布 ○小林恒文(長崎大学大学院)・丸山裕豊(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・真角聡(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・内田淳(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・青島隆(長崎大学水産学部附属練習船鶴洋丸)・清水健一(長崎大学総合生産科学域水産学領域)・八木光晴(長崎大学総合生産科学域水産学領域)</p>	16:00	<p>21F-04-6 全球海面熱フラックスの長期変動 ○富田裕之(北海道大学大学院)・曾田邦夫(東海大学)・久保田雅久(東海大学)</p>
16:15	<p>21F-14-2 生物過程を考慮した海洋浮遊マイクロプラスチックの鉛直輸送に関する数値実験 ○吉武珠穂(九州大学大学院)・磯辺篤彦(九州大学応用力学研究所)</p>	16:15	<p>21F-04-7 気象庁季節予報用全球海洋データ同化システムの更新 ○藤井陽介(気象研究所)・足立恭将(気象研究所)・石川一郎(気象研究所)・吉田拓馬(気象庁数値予報開発センター)・平原翔二(気象庁数値予報開発センター)・久保勇太郎(気象庁数値予報開発センター)・杉本裕之(気象庁気候情報課)</p>
		16:30	<p>総合討論</p>